

令和8年度 グループホーム 地域連携推進会議議事録

日 時：令和8年9月16日（水）13：30～16：00

場 所：グループホームフォレスト

出席者：13名

【 利用者 】 社会福祉法人落穂会グループホームあさひが丘 ご利用者 様
社会福祉法人落穂会グループホームフォレスト ご利用者 様

【 利用者家族 】 あさひが丘学園家族会 会長

【 地域の関係者 】 春山町内会 会長

【福祉に知見のある人】 社会福祉法人正和会 副理事長

- ・社会福祉法人落穂会 理事長 水流純大
- ・社会福祉法人落穂会 副理事長 水流かおる
- ・社会福祉法人落穂会 統括本部長 水流大樹
- ・社会福祉法人落穂会 副センター長 田端敬美
- ・社会福祉法人落穂会グループホームあさひが丘 支援課長 今別府望
- ・社会福祉法人落穂会グループホームあさひが丘 統括主任 黒木智
- ・社会福祉法人落穂会グループホームフォレスト チーフ 盛満悦子
- ・社会福祉法人落穂会グループホームあさひが丘 サブチーフ 外薮翔平

1. 主催者挨拶 （水流理事長）
 - ・開催の挨拶および地域連携推進会議の目的の説明。
2. 出席者の紹介
3. グループホームフォレスト、グループホームあさひが丘の概要説明（黒木主任・盛満チーフ）
 - ・サービス内容 ・支援体制 ・入居利用者情報 ・日常生活の様子 ・地域交流の状況
4. ご利用者様よりグループホームでの生活について紹介、説明
 - ・入居歴、グループホームでの生活と生活介護及び就労状況について紹介。
5. 質疑応答・意見交換（別紙参照）
6. グループホームフォレスト視察（全体）
グループホームあさひが丘視察（2グループに別れ、各4ホームの計8ホーム）
 - ・利用者の居住環境、BCP（事業継続計画）の策定状況の説明。

《質疑応答・意見交換》

○春山町内会会長：ご意見

先日、こどもサポートセンターあさひが丘にて町内会の敬老祝賀会を開催した。カラオケ設備などがあり、ビンゴ大会なども含めて非常に賑やかで良い開催ができた。素晴らしい設備環境を提供していただいた。

5月に実施した春山町内会の「健康フェスティバル」においても、同サポートセンターのグラウンドをお借りし、非常に広々とした綺麗なグラウンドで、地域住民からも「ここでやるのが一番良い」と好評だった。用具や道具の貸し出しも含め、ご協力いただき非常にありがたい。落穂会の皆様には、日頃から各種地域行事に共催・参加の形で積極的にご協力いただいております。

利用者の方が地域内を歩かれている姿や顔をよく見かけるが、地域に迷惑がかかるようなことも一切ない。今後とも変わらぬ良好な関係を維持していきたい。

●水流純大理事長

米山会長をはじめ町内会の皆様と落穂会との結びつきは、年々確実に強くなっていると感じている。こどもサポートセンターでの敬老祝賀会やグラウンドでの健康フェスティバルなど、法人の設備を地域の皆様に活用していただけることは大変喜ばしい。

地域の皆さんと利用者でグラウンドゴルフ大会を実施できればという企画も考えているので、担当者を通じて具体的にご相談させていただきたい。

グループホームの利用者が地域の病院を利用したり、行事の手伝いや盆踊りに参加したりした際に、地域の方が受け入れてくださっていることが何よりありがたい。障害のある方々が地域で自然に生活していくためには、日々の生活の中で顔と顔を合わせ、言葉を交わすことが最も重要であり、地域全体で受け入れてくださっていることを実感している。

事業所として地域に恩返しをするためにも、行事のお手伝いなどを通じて相互理解を深めたい。これが地域の活性化と障害者の生き生きとした生活に繋がり、より良い地域社会の実現に寄与すると考えている。これこそが社会福祉法人の大切な使命である。

今後もアイデアがあれば双方から自由に提案し合い、一緒になって地域を盛り上げ、より発展的で賑やかな街づくりを進めていきたい。

○社会福祉法人正和会 副理事長：ご意見

第1回目と今回の報告を通して、利用者一人ひとりの意志や思いに寄り添い、それぞれに合わせた手厚い支援をされていると感じた。同業者として非常に勉強になる点が多かった。

地域住民との関わりについて、自法人ではまだ足りない点もある中、落穂会では職員の皆様が各種地域行事や交流へ積極的に行き、協力されている姿が印象的であった。

○あさひが丘学園家族会 会長：ご意見

日頃より職員の皆様には大変お世話になっており、家族として安心している。また、地域住民の皆様のご理解があって利用者が地域行事に安心して参加できている。また地域の方もあさひが丘学園の行事にも参加していただければと思う。

広々とした素晴らしいグラウンドがあるので、地域住民・利用者・家族が一緒になって参加できるようなグラウンドゴルフ大会など開催できればと思っている。「この地域で育ててもらって本当によかった」と実感できるよう、ぜひご協力をお願いしたい。

他施設での虐待事件等の報道があるが、当法人においてはそのようなことが決して起こらぬよう切に願っている。利用者の意思疎通を丁寧に図り支援をしていただきたい。

●水流かおる副理事長

当法人におけるグループホーム事業は平成17年（第1号ホーム「花梨」）からスタートし、約20年の間に多くのホームが誕生した。当時は試行錯誤の連続であったが、「施設ではなく地域社会の中で人間らしく生活してほしい」という強い思いから事業を推進してきた。幼少期から見守ってきた利用者が、地域の中で活き活きと暮らしている姿に深い感慨と感謝を抱いている。

地域の中で暮らしている彼らを見て本当に良かったなど。施設の中で一生を終えるのではなくて、人として地域の中で暮らしていく経験をしながら、人生を送れることは本当にありがたいことであり、いつも感謝しています。

事業開設初期、近隣の方の何気ない一言から、自分たちが何を行っているのかという一方的な視点だけでは不十分であり、近隣住民がどう感じているかという視点を持つことが不可欠であると痛感させられた。私たちが気づかないところで、地域の方々にご配慮いただいたり、目をつぶっていた部分も実際にはあるかもしれないと考えている。お互いを深く知ることが何より大切であるため、気になる点や疑問があれば、ぜひ気兼ねなくお声掛けいただきたい。当法人からも説明を尽くし、対話を重ねていきたい。町内会や保護者会の温かいご支援に感謝しつつ、今後も春山地域を共に盛り上げる仲間として受け入れていただきたい。

●水流大樹統括本部長

これまでの歩みと取り組みの積み重ねで現在の関係性がある。利用者が地域の皆様とともに安心して長く暮らしていける環境を持続的に構築していくことこそが、法人としての重要な使命であり役割である。地域との交流が進みつつある中、理事長の発言にもあった通り、お互いが「やりたいこと」や思いをざっくばらんに話し合えるようなオープンな関係性を築いていきたい。地域の皆様と一緒に多様な取組や成果を実感できるよう、今後も良好な信頼関係の構築と連携に努めていきたい。

【グループホームフォレスト施設内案内議事録】

日時：2026 年 9 月 16 日（水）14 時 30 分～14 時 45 分

場所：グループホームフォレスト

施設側対応者：田端敬美、盛満悦子、斎野美千代さん（利用者）

質疑応答

Q. 居室内の換気はどのようになっていますか？

A. 24 時間、ロスナイ換気で室内の快適な温度・湿度をキープしながら換気ができている。エアコンと併用し、温度調整はもちろん外からの汚れ等の対策も出来る。

Q. 個人の居室内について、畳とフローリングの違いは何ですか？

A. 利用者のニーズに合わせ、家族とも検討し環境を整えている。

Q. 洗濯等は誰がしていますか？

A. 洗濯機の使い方や洗剤の量の調整などは難しいため支援者が行っており、洗濯ものを取り込んだり、畳んだりすることができる方は、支援者と一緒に行っている。

【グループホーム（花梨・とんぼ丸・夕陽丸・朝陽丸）案内議事録】

日時：2026 年 9 月 16 日（水） 15 時 00 分～16 時 00 分

場所：グループホーム花梨、とんぼ丸、夕陽丸、朝陽丸

施設側対応者：水流大樹、今別府望、外菌翔平

地域、家族関係者：米山町内会長、川畑保護者会会長

【グループホーム（つばさ丸・四郎丸・ももか・くるみ）案内議事録】

日時：2026 年 9 月 16 日（水） 15 時 00 分～16 時 00 分

場所：グループホーム花梨、とんぼ丸、夕陽丸、朝陽丸

施設側対応者：水流純大、黒木智、今村光良（利用者）

福祉に知見のある人：正和会副理事長

質疑応答

Q. 休日などどのようにすごしていますか？

A. 外出がとても好きな方々なので、利用者の意向を確認し、買い物や映画、外食等を行っている。
花梨近くにカフェもあり、そこも良く利用している。

Q. デイサービスを利用している方がいるとのことですが、サービスは障害者サービスを利用していますか？

A. 65 歳以上の方は障害福祉サービスから介護保険サービスへの利用移行をしなくてはならないが、
障害状態に応じて両方の制度を併用している方もいる。

Q. グループホームとんぼ丸が建って何年ほどですか？

A. 平成 26 年 6 月より開所したので、12 年目。

Q. とんぼ丸居室に洗濯物を干す竿が設置されているが、洗濯物は利用者個人が自分たちで干す、
取り込むのですか？

A. 個人で干し、取り込む事が可能な方もいるが、支援員と一緒に洗濯物を干す、取り込む、片付け
を行う方もいる。

Q. 支援員も調理を行う事がありますか？

A. スタッフが調理を行う事もあるが、基本的に世話人が配置されている。調理内容はヨシケイの献立に沿って調理を行っている。世話人さんの中には春山町内会内の方もおり、台風などで他の世話人が出勤出来ない時に調理に来ようかと声を掛けてくれることもあり、地域の方々にも支えられている。

Q. 利用者の方も調理を行う事がありますか？

A. 可能な方は職員と一緒に簡単な調理を行うこともある。仕事に持っていくお弁当などを、自身で準備をする方もいる。

Q. 地域の方との交流はどのように発展していった？

A. 地域の方が犬の散歩でホーム近くを通った際に挨拶をしたことで関係性ができたケースもあれば、ホーム近くに移動販売車両が来た際に、一緒に買い物することでホームの方と認識してもらえたケースもある。